



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach Within to Embrace Humanity
2011~2012年度国際ロータリーのテーマ

Rotary Club



クラブアッセンブリー

国際ロータリー2680地区 東播第2グループ ガバナー補佐 大庫 俊介 様

みなさま、こんにちは。本日は2回目の訪問になります。

本年度が始まってはや4ヵ月近くが過ぎようとしています。高砂青松ロータリークラブにおかれましても、内海会長の下、順調に事業を進められていることと思います。

ガバナーの公式訪問も東播第二グループは当クラブを残すのみとなりました。ガバナーの素晴らしいお話を是非楽しみにしていただきたいと思います。

さて、朝夕も肌寒くなって、秋もすっかり深まってまいりました。「天高く馬肥ゆる秋」と申しますと、澄み渡った秋の空と豊かな実りというのどかなイメージが湧きますが、もとは中国の北西部の農民の諺で、秋になると夏の放牧ですっかり肥えた馬に乗って、北方から収穫物を略奪に蒙古人が現れる、決して油断をするなという警告の意味であったそうです。

災害の多い国であるということは分かっていた我が日本でしたが、今年ほどそれが実感された年はありません。

阪神淡路大震災を経験した我々は、生涯であれほどの震災に出会うことはないだろうと思っていましたが、それからわずか16年、我々は天災を常に起こりうるリスクとして意識せざるを得なくなりました。

東日本大震災は、平安時代前半の869年に東北地方で起こった貞観地震の再来といわれていますが、その前年の868年に起こった播磨国大地震は高御位の東側あたりを震源地としたマグニチュードが7を超す大地震であったと言われ、寺院もすべてが倒壊したとも言われています。専門家は「播磨でもいつ大地震があっても不思議ではない。歴史の教訓に学び、油断しないことが大切」と警鐘を鳴らしています。

油断ということについては、かつて勝海舟が素晴らしい遺訓を残しています。

事、未だ成らず 小心翼翼たれ

事、まさに成らんとす 大胆不敵に

事、すでに成る 油断大敵

これは、私どもの仕事においても、ロータリー活動においてもあてはまります。事を成すにあたっての準備の段階では小心翼翼、すなわち気が小さくびくびくしていると思われるほど、細かいところまで十分に調査、研究し、計画を立て、準備を万全にする。そして、機が熟せば、何の躊躇もなく、大胆不敵に実行に移す。

さらに事が成就し、目標が達成した時、それに油断することなく、十分に反省し、次に備える。勝海舟の遺訓はまさに現代のマネジメントサイクル、すなわち Plan, Do,



Check, Action の原型でもあります。内海会長の下，当クラブがこれから 8 ヶ月，さらに大胆不敵に行動されることを期待しています。

さて，戦後の復興から右肩上がりの時代を経たロータリーですが，1997 年を境に日本のロータリーはある意味，試練の時期を迎えました。

8 月号のロータリーの友には，会員増強及び拡大月間として，「会員数について考える」をテーマにデーターをもとにして会員数の推移が非常に分かりやすく掲載されていました。日本のロータリークラブの会員数は 1997 年の約 13 万人をピークに，今では約 9 万人，実に約 30% の減少となっています。15 年連続の減少であります。

会社経営で考えると，15 年連続減収，売り上げが 30% も減少して生き残るのは不可能と言えます。地区でも 1999 年に 4 千人を割り，そして今年はずいに 3 千人を割ってしまいました。また，かつては会員数 40 人以下の小規模ロータリーが，全体の 20% ほどであったのが，今では 60% を超えるまでになりました。当地区も同様であります。会員数の減少は，ロータリークラブの社会的地位並びに影響力の低下，さらに財政基盤の脆弱さを生み出すこととなります。

本年度のガバナー月信では，毎月，久野ガバナーが非常に意欲的にロータリーの意味について語っています。ガバナー自身，この 3 ヶ月，ほぼ連日の公式訪問やセミナー等の出席で多忙を極めておりますが，その中でもロータリーへの情熱が全く衰えることなく，精力的に行動をしています。

以前に行われました地区チーム研修セミナーにおいて，久野ガバナーはロータリーへの危機感から，会員数減少にいたるロータリーの組織の要因として 4 つの要因，問題点を挙げています。今日はガバナーの公式訪問を前に，その内容について私の考えも含めてお話をさせていただきます。

ガバナーが挙げた一つ目の要因が社会的要因。すなわち，社会情勢や経済情勢，そして人口動態の問題です。とりわけロータリーにおいては経済情勢が大きな要因となります。全体的に発展途上国において，ロータリーが拡大の途上にあるのに対して，先進国ではロータリーは衰退の傾向にあります。特にそれが顕著なのが日本であり，ロータリーに限らず，経済人がそのメンバーの主体であるライオンズクラブや青年会議所もロータリーと同様，会員数減少の勢いが止まらないのが現実となっています。そのため加古川ライオンズクラブの中には，2 度目の会長というケースも増えてきているようです。その点においてはロータリーの発展は，地域の経済の発展なくしてあり得ません。

そして，ガバナーが指摘する二つ目の要因が人的要因。

すなわち，個人の価値観の変化と拝金主義や悪しき個人主義による心の劣化です。

私自身ロータリーに入会して 23 年になります。社会人として生活をするようになって，その半分以上をロータリアンとして過ごしてきました。ロータリーは人生の一部になっています。ロータリアンとの語り，例会，親睦，そして事業はかけがえのない人生の一部となっていますが，今，新会員の勧誘を試みて，ロータリーを必要としない人があまりにも多くなってしまっている現状を痛感いたします。価値観の変化は特にこの 10 年で大きな壁となってしまいました。

次にガバナーが挙げる三つ目の要因として，国際ロータリー自体の要因，すなわちロータリー哲学の喪



内海会長よりお礼の品

失と財団主義の台頭を挙げています。それによるロータリーの魅力の喪失を嘆いています。

ガバナーによれば、毎年発表される国際ロータリーのテーマ、今年は「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」ですが、このテーマも再来年からは廃止される可能性が高いということでもあります。

最後の四つ目の要因が我々にとって最も身近であるクラブ内の要因、すなわち会員選考の形骸化、学ぶ意欲の喪失、感性的な親睦のみの重視、そして活動の形式化、マンネリ化、さらにロータリーでは、あってはならないクラブ内派閥の存在を挙げています。仲間割れで会員数が大幅に減少したり、消滅した事例が珍しくなくなってきたとも指摘されています。

しっかりとした論理的思考を持つ久野ガバナーらしい的確な分析であります。私たちはこの分析を参考に現状をしっかりと確認し、正面から取り組むことを考えてはどうでしょうか。本年度のR.I.の強調事項の一つは「変化」であります。

カルヤン・パネルジーR.I.会長は、真の変化は自分の内面から始めるものであると述べられています。しかし、変化は口で述べるほどそんなに簡単なものではありません。50歳以上が80%を超えるロータリアンにとっては、今までのパターンを変える変化よりは現状でいるほうが心地よいのが当然であります。

しかし、ポール・ハリスはロータリーの奉仕理念は哲学だからみだりに変えるべきではない、いや絶対変えてはならない。

しかし、奉仕活動の実践は社会のニーズに従って大胆に変化させなければ、だれからも頼りにされないばかりか、相手にされない、ロータリーが生き残るためには、社会の変化に沿った管理運営の方法を考え、常にパイオニアとして新しい試みに挑戦する必要があると、すでに80年以上も前に警告しています。

委員会報告 or その他連絡事項 et cetera

青木会員から

「被ばく者医療からみた原発事故」

講演会参加のお願い

日 程 11月19日(土) 午後3時~5時

場 所 加古川勤労会館 3階301会議室

加古川市野口町良野 1739 TEL: 079-423-1535(代)

講 師 東神戸診療所(神戸市中央区)

所長 郷地 秀夫 先生

参加費 無料

《主な講演内容》

“ 原発事故による放射線被害 ”

“ 内部被ばくと外部被ばく ”

“ 内部被ばくの危険性 ”

お問い合わせは担当事務局 都甲・松村まで

TEL 078-393-1803



【講師プロフィール】

郷地秀夫先生

1947年 広島県生まれ

1973年 神戸大学医学部卒

2003年 東神戸診療所長

兵庫県保険医協会副理事長

原爆症集団認定訴訟支援ネット兵庫代表

核戦争を防止する兵庫県医師の会運営委員

会長の時間 President

今月の始め競走馬のシンボリルドルフが死んだというニュースがテレビ・新聞等で報じられていました。30才ということです。

早稲田大学の創立者で首相も務めた大隈重信は人間は125才まで生きる事が出来ると唱えていました。その根拠は「すべての生物はその成熟期の5倍の生存力を持っている」というある生物学者の説を信じていました。

通常馬の成熟期は5才なので25才まで生きられる。シンボリルドルフは長生きした馬と言えるでしょう。しからば人間の成熟期はというと25才とされています。ですからその5倍の125才まで生きることができるという訳である。

この説を信じていた大隈重信は暴飲暴食をさけ、早寝早起、適度の運動と摂生に摂生を重ねましたが83才で亡くなりました。死因は胆石症でした。医学が発達した今の世に大隈重信がいたら胆石症で命を落とすことはなかったのではと思います。

現在、日本の最高齢者は佐賀県に住む長谷川チヨノさんで114才です。

本日は大庫俊介ガバナー補佐をお迎えしてのクラブアッセンブリーです。11月9日の久野ガバナーの公式訪問に先駆けて、ガバナー補佐からお話をうかがいます。



おやじバンド



西中副会長頑張ってます



幹事報告

Secretary

第16回 通算1512回

1. ステップハウスより Step Go が届いています。回覧します。
2. ローターレート変更の連絡がありました。1ドル=78円
3. the rotarian 誌が届いています。回覧します。
4. 国際交流協会より国際交流通信が届いています。回覧します。
5. 例会変更

加古川平成ロータリークラブ

11月16日(水) 11月20日(日)

紅葉親睦家族例会の為

於：京都嵐山方面

姫路南ロータリークラブ

11月21日(月) 11月19日(土)

西播第一グループI.M.

登録開始 13:30~

開 会 14:00~



ニコニコ報告

Donation

大庫 俊介ガバナー補佐 (多額)

感謝。

内海 薫

大庫ガバナー補佐，上月随行員をお迎えして。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

佐野 栄作

ガバナー補佐，大庫俊介様，セクレタリー上月和洋様，ようこそいらっしゃいました。御指導よろしく御願います。

籠谷 啓一・京谷 慎平

大庫ガバナー補佐ご苦労様です。今後共ロータリーの真髓をご指導下さい。ゴルフは結構ですので！

藤本 明久

大庫ガバナー補佐，本日はお越し頂き有難うございます。また別府のお店でお会い出来ればと思います。

伊藤 勝之

籠谷さん，ようこそいらっしゃいました。先日から御世話になっています。

小西 文孝・矢野 聡・伊藤 勝之

植杉成一郎・庄司 武・大森 千里

志方 正昭・都倉 達殊・増田耕太郎

大橋 卓司・田水 敬雄・柿木 國夫

田中 伸明・嶋谷 拓雄・井野 隆弘

大庫ガバナー補佐様，上月ガバナー補佐セクレタリー様，ようこそお越し下さいました。



S.A.A. ニコニコ発表



本日の昼食

例会記録 2011. 10. 26 (水) 通算1591回

ソング 「奉仕の理想」「四つのテスト」「歓迎歌」
 本日のゲスト 国際ロータリー2680地区東播第2グループ
 ガバナー補佐 大庫 俊介様
 " セクレタリー 上月 和洋様
 来訪ロータリー 籠谷 啓一様 (高砂R.C.)
 アン報告



出席報告 10月28日 会員数48名 欠席者3名 出席率93.75% <修正による>
 (この内出席免除者9名)
 10月28日 会員数48名 欠席者10名 出席率79.17%
 (この内出席免除者9名)

近隣クラブINFORMATION Neighbor-club information

クラブ名	変更内容	日時・場所
加古川中央ロータリークラブ	休会	11/3(木・祝)
	職場例会	11/17(木)12:00~ 於:兵庫大学
加古川平成ロータリークラブ	紅葉親睦家族例会の為	11/16(水) 11/20(日) 於:京都嵐山方面
明石西ロータリークラブ	祝日・休会	11/3(木)
	クリスマス家族例会	12/15(木) 12/17(土) 於:舞子ピラ
	休会【定款第6条第1節(c)】	12/29(木)
	休会【定款第6条第1節(c)】	1/5(木)
高砂ロータリークラブ	家族例会の為	11/11(金) 11/13(日) 於:宝塚(歌劇)
	職場例会の為	11/18(金) 12:30~ 於:サントリープロダクツ(株)高砂工場
明石北ロータリークラブ	東播第1グループI.M.	11/15(火) 11/12(土)
	クリスマス家族例会	12/13(火) 12/18(日)
	休会【定款第6条第1節(c)】	12/27(火)
	休会【定款第6条第1節(c)】	1/3(火)
姫路南ロータリークラブ	西播第1グループI.M.	11/21(月) 11/19(土)13:30登録開始 於:姫路キャッスルホテル

(注)高砂青松ロータリークラブのホームページにも掲載しています。.....ホームページの情報の方が早く把握できます。

◆プログラム予定◆

11月2日(水) ロータリー財団委員会 担当 昼食メニュー 幕の内	11月9日(水) ガバナー公式訪問 昼食メニュー 幕の内	11月16日(水) 卓話 「この写真は私の思い出 の○○○です」 昼食メニュー カレー&味噌汁	11月23日(水) 休会 祝日の為
--	--	---	-------------------------

・昼食メニューは仕入れの都合により変更することがあります。

会長 内海 薫 幹事 佐野 栄作 クラブ会報委員長 都倉 達殊

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)